

放射線部紹介・特色

放射線部スタッフ紹介

放射線科医師 東 龍男 診療部長
非常勤放射線科医師（徳島大学病院） 木下 光博 医師
放射線技師 5名
放射線派遣事務 1名

放射線部理念

私たちは医療専門職としての自覚を持ち、常に知識・技術の向上を心がけ、患者様に最良の画像情報を提供します。

放射線部基本方針

1. 患者の納得できる医療の提供に努めます。
2. 医療被曝の低減に努めます。
3. 医療事故防止に努めます。
4. チーム医療の一員として他部門との連携に努めます。
5. 信頼される医療を目指して日々研鑽します。

放射線部検査装置紹介

1.CT 撮影装置

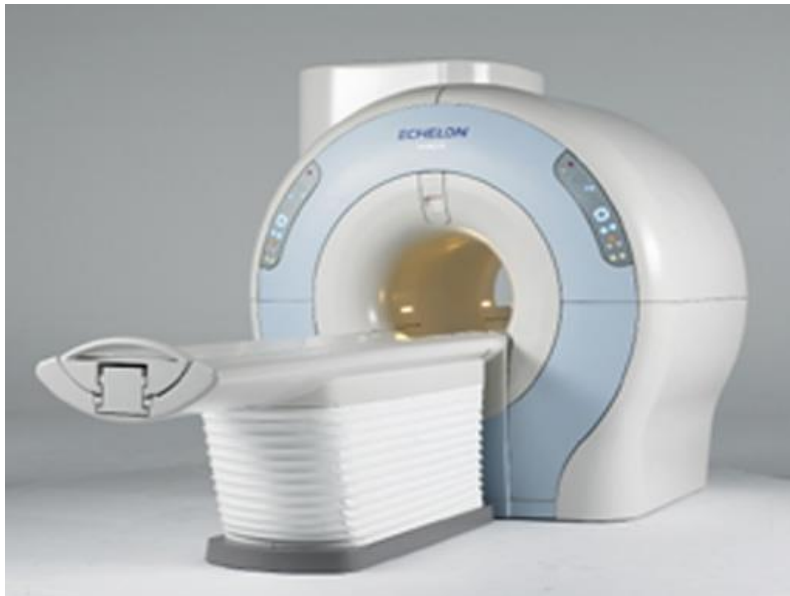
(機能・特色)

Aquilion PRIME は80列検出器と1回転0.35秒スキャンにて高精細0.5mmスライスの高速撮影が可能である。64列に比べて2倍の速さで同一の高精細画像の撮影ができます。



2.MR 撮影検査

今年度(平成 29 年)8月31日を以て新病院建築の工程の都合上廃棄となりました。



3.乳房撮影検査(マンモグラフィー撮影)

(機能・特色)

デジタルマンモグラフィ撮影装置を使用しています。デジタル撮影により明確に微小乳がんの描出が可能であり、また乳腺外来とは「ON LINE」で画像が繋がり診察の場においても多彩な画像描出が可能となっています。CAD(コンピュータ乳がん検出支援システム)の導入により検出能をさらに向上させています。これにより乳がん検診を含む乳腺全般の診療に大きな革新が加わり県南唯一の「マンモグラフィ一施設認定病院」「乳がん指定病院」としての機能を充実させています。

—阿南市乳がん検診について—

乳がん検診の方法は、視・触診に関しては登録済み会員先生方の施設で行なっていただき、当院では乳房撮影・読影のみを行い、結果を申し込み施設へ返却するといった二施設併用方式が基本である。会員先生方との連携により地域に密着した信頼のおける検診を受けていただけるように心がけています。



4.一般撮影装置(CR画像)

(機能・特色)

一般撮影室は胸部撮影室を含め、3室で救急撮影にも対応している。ポータブル撮影装置2台も含め、CR画像処理を行うことで常に安定した画像を迅速に提供できるシステムとなっている。

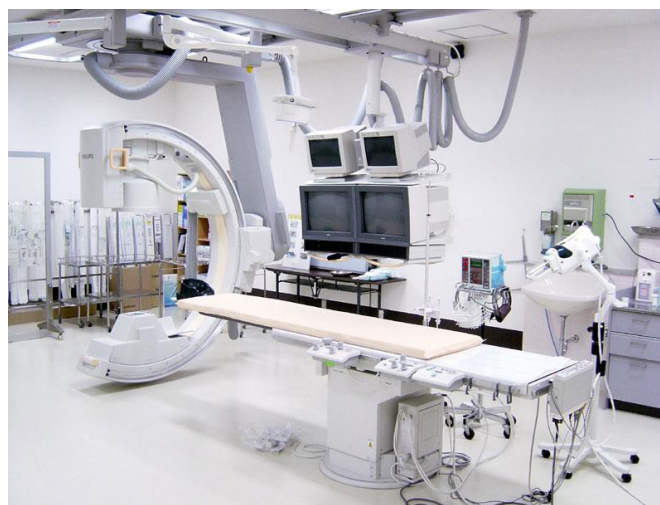


5.血管撮影装置

(機能・特色)

心臓カテーテル検査を主体とし PTCA、TAE といった IVR(インターベンショナル)検査にも活用されている装置である。

デジタル画像による撮影に加え、長時間透視・撮影にも耐久性を持ったX線管球を携えているため患者様に安心した検査を受けていただけます。



6.X線透視装置

(機能・特色)

フルデジタル透視撮影装置である。透視画像もデジタルであるためハレーション(偽像)もなく、また連続撮影したのち必要画像のみプリントできるための確な診断画像を得ることができる。胃透視のみならず、内視鏡検査(CF・ERCP) 外科(PTCD) 泌尿器科(RP・尿道造影)とあらゆる分野で活躍しています。



7.超音波撮影装置

(機能・特色)

上腹部スクリーニングを主体に骨盤内・頸部・乳房等にも利用している。最近装置も軽量となり、救急外来専用小型装置を置き、聴診器と同じ感覚で使用可能となっている。放射線部内の装置では、上腹部を主体とした検査を行っている。



8.放射線部関連装置

結石破碎装置:ESWL

